

# 千島海溝震源大津波は大丈夫か

## 東日本大震災クラスを想定

**問** 新聞報道によると、東北から北海道の太平洋沖にある、日本海溝・千島海溝沿いを震源とした地震の想定を4月21日、内閣府の有識者会議が公表した。最大規模はマグニチュード9クラスとなり、本県南部では6強を想定している。本県には、10〜20メートル以上の津波が到達すると見込んでいるのだが、本町には何メートルの津波が来ると想定しているか。

**佐藤町長** 今回、内閣府より公表されたものは、科学的知見に基づく最大クラスの地震津波に対し、潮位、防潮堤の決壊条件など、最悪のケースで想定されたものであり、新聞報道では、本町の最大沿岸津波高は21・9メートルと言われている。

**問** 県で建設した防潮堤がこの津波に耐えられるのか。また、越えることが予想されるか。

**町長** 耐えられるかどうかは、今後、岩手県が津波防災地域づくり法に基づき作成する津波シミュレーションの公表により判明するものと考えている。

**問** かさ上げた部分に被害が想定されるのか。また、今後避難所、公共施設をどういう場所にもってくる考えか。

**町長** 内閣府の被害想定、県の浸水想定区域等の公表に基づき、対策を検討していく。

**問** 津波が来ないことが一番であるが、仮に来たと想定した場合はどのような対策を特に考えているか。

**甲斐谷総務課長** 山田町の場合、今回のシミュレーションでは宮古以北

に比べて津波の高さは低くなると言われている。日本海溝・千島海溝沿いで起きる地震による津波の高さよりも東日本大震災クラスの津波のほうが高いと予想されている。このため、今までどおり東日本大震災クラスの津波が来ると想定した避難、被害対策を引き続き行う。

**要望** 改めて、今後津波による犠牲者を1人も出さないという強い気持ちを持って、今まで以上に対策をとっていただきたい。



阿部 幸一 議員

( 新 生 会 )



北浜地区の防潮堤建設予定地